

平成23年1月18日

農商工連携セミナー

「知と地の協奏 ～大学が狙う農商工連携～」について

香川大学では学内や地域での農商工連携を活発化させるため、農商工連携懇談会を発足し地域のニーズと学内シーズのマッチングを図り、地方の特色を活かした新たな研究領域とテーマを模索する取組みを進めています。

本セミナーでは宮城大学の大泉一貫氏を御招きし、マクロな視点から現在の日本が抱えている農業を取り巻く環境とそこに潜む課題や地域における農業経営、事業化、知財化について御講演頂く予定です。また、弁理士の木戸基文氏からは農産物のブランド化と農商工連携によって生まれる成果の活用方法について、御自身の地方自治体での勤務の体験を基にご講演頂きます。

1. 日時：平成23年1月28日（金）13:00～16:30
2. 場所：香川大学 研究交流棟5階 研究者交流スペース
高松市幸町北キャンパス（香川県高松市幸町1-1）
3. セミナースケジュール
13:10～14:40 講演
「農商工連携の意義と推進上の課題」
大泉 一貫 氏（宮城大学副学長 事業構想学部 学部長）
14:50～16:20 講演
「農業と地域のブランド戦略」
木戸 基文 氏（弁理士）
4. 参加対象者：香川大学教職員、学生、地域企業関係者、一般来場者 など
5. 参加費： 無料
6. 主催者：香川大学社会連携・知的財産センター



➤ 問い合わせ先
〒761-0396 高松市林町 2217-20
香川大学 社会連携・知的財産センター（永富、和田）
TEL：087-864-2522 FAX：087-864-2549
E-mail：ccip@eng.kagawa-u.ac.jp



KAGAWA
UNIVERSITY

農 商 工

連携セミナー

知と地の協奏 ～大学が狙う農商工連携～

日時 平成23年 1月28日(金)
13:00～16:30

場所 香川大学研究交流棟5階
研究者交流スペース
(香川大学幸町キャンパス内)

参加
無料

講演

13:10～14:40

「農商工連携の意義と 推進上の課題」

講師 大泉 一貫 氏
(宮城大学 副学長 事業構想学部 学部長)

14:50～16:20

「農業と地域の ブランド戦略」

講師 木戸 基文 氏
(弁理士)

主催：香川大学社会連携・知的財産センター
後援：香川大学社会連携・知的財産センター技術交流協力会
(財)四国産業・技術振興センター
(社)香川経済同友会
(財)かがわ産業支援財団
(株)テクノネットワーク四国(四国TLO)

詳細・申込方法は裏面をご覧ください

Collaboration between Agriculture,
Commerce and Industry

司会：永富 太一（香川大学社会連携・知的財産センター 助教）

13:00～13:10 開会挨拶

田港 朝彦 香川大学副学長（国際・連携担当）

13:10～14:40 講演

「農商工連携の意義と
推進上の課題」

大泉 一貫 氏
（宮城大学 副学長 事業構想学部 学部長）

【講演内容】

現在の農業を取り巻く環境における農商工連携の意義と推進していく上での課題について、マクロな視点から御講演頂くと共に、香川大学の取り組みや構想に対して御提言をいただきます。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:20 講演

「農業と地域のブランド戦略」

木戸 基文 氏
（弁理士）

【講演内容】

前職の広島市役所では農業指導、農産物ブランド化（ひろしまそだち）に従事しており、農商工連携などの知財関連実務に精通。農業の分かる弁理士としてこれまでの具体事例などについて御紹介いただきます。

16:20～16:30 閉会挨拶

合谷 祥一 香川大学社会連携・知的財産センター長

会場アクセスマップ



※駐車場はございません。
公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

参加申込書

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いいたします。

メ切 1月27日(木) 必着
※当日の受け付けもしております。

ご所属	ご芳名	電話番号	E-mail
1			
2			
3			
4			
5			

※ご記入いただく個人情報につきましては、今回のセミナーでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

お問い合わせ 香川大学社会連携・知的財産センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20
TEL 087-864-2522
FAX 087-864-2549
E-mail ccip@eng.kagawa-u.ac.jp
URL http://www.kagawa-u.ac.jp/ccip/



香川大学キャラクター

細い線で「K」をモチーフにした動物(人)を描いています。「夢・個性」の発見に向けて、人一倍の「嗅覚(アンテナ)」を磨き生かし、知識、探究、思考、発想、実行を重ねながら、筋肉を身につけて魅力的な人となり社会に巣立つことをイメージしております。